

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 日 作成
 20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		西合志郷土資料館運営事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	課長名 高木 敏明
	施策	22	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成		所属課	生涯学習課	担当者名 浦田 信智
	基本事業	77	歴史・伝統・文化に触れる機会の提供		所属班	生涯学習班	(内線) 2421
					法令根拠	文化財保護法	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	4
	1	10	5	7	10924			コスト削減優先度評価結果	9*4

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成7 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
 文化財保護の啓発および市民の郷土史学習の支援

【業務の流れ】
 収蔵資料の収集、研究、資料作成、展示物および収蔵資料の保管・公開、資料の寄贈・寄託の受入れ、市史編纂資料の収集・作成、郷土史学習講座講師、体験教室・企画展の開催

【主な予算費目】 雑用費(消耗品費) 役務費
 1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 郷土資料の収蔵・展示・収集	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 郷土資料の収蔵・展示・収集
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 展示資料数 点 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 郷土史を学ぶことができる	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 人口 人 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 多くの文化財を知り、触れることができる	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 来館者数 人 → イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 合志市の歴史・伝統・文化に触れている市民の割合 % → イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	10	14	14	13	0	0	
	(A) 事業費計	千円	10	14	14	13	0	0		
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費									
正規職員従事人数	人	5	2	2	2	2	2	2		
延べ業務時間	時間	248	120	120	120	160	160	160		
(B)人件費計	千円	985	478	478	478	637	637	637		
トータルコスト(A)+(B)	千円	995	492	492	491	637	637	637		
活動指標	ア イ	点	300	300	300	300	300	300	目 標 合 計 値 画 22 年 度	
対象指標	ア イ	人	53,626	54,000	55,000	55,000	56,000	56,000		
成果指標	ア イ	人	4,359	4,386	4,300	3,026	4,300	4,300		
上位成果指標	ア イ	%	47	47	48	45	49	49		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 平成7年度郷土資料館完成に伴い事業開始。郷土の文化財を周知し、市民に学習の場を提供することを目的として設立

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 現在残されている貴重な資料は、経年による劣化や破損、散逸の危険性が増えていく。それに伴い、保護して後世に残すべき資料は少しずつ増加すると思われる。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 資料館はあまり知られていないので、もっとたくさんの人にしてほしい

事務事業名	西合志郷土資料館運営事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 郷土史を学ぶ場を提供することにより、市の歴史に触れ、認識を深めてもらうことに結びつく
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 文化財は、歴史や文化等の正しい理解のために不可欠なものである。 その保存及び活用を図ることは、文化の向上・発展に極めて重要であることから、行政の任務であるといえる。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象・意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 より多くの市民が文化財に対する認識を深めるため、周知を徹底することで来館者を増加させることが必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 郷土史を学ぶ場が失われる
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 当面は現状維持であるが、今後財政難が続くようであれば合志歴史資料館との統合や分業により、それぞれを有効活用する。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在、必要最小限の経費で運営しているため、削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在、必要最小限の経費で運営しているため、削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 資料館は誰もが来館し、歴史や文化を学ぶことができる教育施設であるため

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 当面は現状維持であるが、今後財政難が続くようであれば合志歴史資料館との統合や分業により、それぞれを有効活用する。
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 周知方法の一つとして市ホームページや広報の活用や、学校との連携を図る	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○	△	維持	△	△	低下	△	△	△
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上	○	△																	
	維持	△	△																	
低下	△	△	△																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
特になし

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	3	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	3	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)